

民生委員・児童委員

市内では、216人の民生委員・児童委員が地域の身近な相談相手として、また、支援を必要とする人と行政や専門機関とのつなぎ役として、皆さんが安心して暮らせるように活動しています。

民生委員・児童委員には守秘義務があり、相談の秘密は守られます。思いやりを持って活動する民生委員・児童委員の皆さんの活動をインタビューと共にお伝えします。

民生委員・児童委員とは？

民生委員は、地域の推薦を受け、厚生労働大臣から委嘱された非常勤特別職の地方公務員です。任期は3年で給料の支給はなくボランティアとして活動しています。

地域住民の一人として、担当する地域で、生活上の心配ごと、困りごとなどの相談に応じ、必要に応じて行政などの専門機関へつないでいます。また、高齢者や障がいのある人の見守りや安否確認も行っています。なお、すべての民生委員は児童委員を兼ねています。

主任児童委員とは？

子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員で市内に12人います。地域の民生委員・児童委員と連携しながら子育て支援や児童健全育成活動などに取り組んでいます。

どんな活動をしているの？

【見守り活動】
一人暮らしの高齢者宅を中心に訪問し、見守り活動を行います。

【安否確認】

「しばらく姿を見かけない」と連絡があった場合などに様子を確認します。状況に応じて家族や専門機関に連絡をとり、支援につなげます。

【介護や子育ての相談】

介護や認知症、子育てや不登校などの悩みを抱える人の相談に応じます。

【専門機関へのつなぎ役】

必要に応じて、専門機関につなげることで相談者の問題解決を支援します。

Interview 市民生児童委員協議会 副会長 増田 早苗さん

美しい安曇野 素晴らしい出会いに感謝



民生児童委員は、地域の皆さん一人一人の生活に根差した活動を行っています。それゆえ他人の人生に関わることの重圧を感じることもあります。しかし、長年続けていると感謝の言葉をいただくこともあり、この温かさが幸せとやりがいになっています。昨年の夏、庭仕事をしていたところに以前、家庭の相談を受け、中央地域包括支援センターに紹介し見守りをした方が「あの時はお世話になりました」と明るい顔で伝えに来てくれました。こういった瞬間が民生児童委員をやっていて一番嬉しいときです。最初の頃は、地域の認知度もなく、うまく活動ができない時期もありましたが、何気ない声掛け、地域の方々からの情報提供や相談ごとなどを通し私自身も学びながら活動ができています。

今では、民生児童委員としての生活は私の一部となっています。今も健康な生活が送れていることを皆さんに感謝しながら、地域に根差した活動を続けていきたいと思っています。

Interview 市民生児童委員協議会主任児童委員会 委員長 荒深 たつ子さん

子どもたちが今を生きるために そっと支える

今を生きる子供たちの背景には、さまざまな悩みや問題を抱えている家庭が多くあります。主任児童委員は、子どもたちが健やかに暮らせるように関係機関や地域の民生児童委員と連携をとりながら支援を行っています。地域の子育ての推進役として相談に応じる際は、ソフトな距離感でやさしく接することを心がけています。

悩みを抱えている家庭と会話をしていくと、親子が徐々に明るくなっていくのを実感する時があります。子どもの笑顔と親の元気をを感じる瞬間が一番嬉しく、私の原動力になっています。また、児童館や保育施設などを訪問した際、保護者の方に「悩みを話してみたら心がすっきりした」と言われたことも嬉しい瞬間でした。安曇野の子どもたちが今の時代を笑顔で生きられるように、そっと支えていけたらと思います。



こんな時は悩まず

お近くの民生委員・児童委員にご相談を 〇〇福祉課 TEL 71・2253



令和4年12月に民生委員・児童委員が全国一斉に改選されました。各地区を担当する民生委員・児童委員がご不明な場合は問い合わせください。

【こんな相談に応じます・秘密は守ります】

高齢者が一人暮らしで心配、子育てに悩んでいる、生活などで困っている、子どもの不登校に悩んでいる など

私たちが相談に応じます！(各地区民生児童委員協議会会長・主任児童委員会委員長：敬称略)



明科地区
会長 松嶋隆徳



豊科地区
会長 増田早苗



穂高地区
会長 笠原健市



堀金地区
会長 青柳和義



三郷地区
会長 布山直利



主任児童委員
委員長 荒深たつ子

Interview 市民生児童委員協議会 会長 松嶋 隆徳さん

地域と一緒に見守りを 小さなことにも気づくために

私たち民生児童委員は、地域の困りごとの相談支援活動を行っています。最近では、地域とのつながりが希薄になってきていることもあり、悩みごとや困りごとの内容が多岐にわたるようになってきました。多くの問題を解決するためには、気軽に話をしてもらえる雰囲気・環境づくりはもちろんですが、地域との連携が特に大切だと思っています。地域に民生児童委員の活動を広め、地元の皆さんと一緒に活動することで、「あの人が悩んでいる」「この人が最近具合悪そう」などという情報が自然と民生児童委員へ届くようになることが期待できます。

民生児童委員一人だけでは、きめ細やかな見守りは難しいと感じています。これまで活動を続けてこられたのは地域の皆さんからの情報提供のおかげだと思っています。「ありがとうございました」「お世話になりました」という言葉を相談者からいただくことで日々元気をいただいています。

